

神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 6

神聖な性質にあずかり、神聖な命と神聖な性質を発展させ、
永遠の王国へと豊かに入る

聖書：Ⅱペテロ 1:1, 3-11, 3:18

I. 同じ尊い信仰を受けた者として、わたしたち、キリストにある信者は、神聖な性質にあずかる者となるべきです——Ⅱペテロ 1:4:

- A. 神聖な性質とは、神が何であるか、すなわち、神の存在の豊富と要素と構成とを指しています——ヨハネ 4:24, Iヨハネ 1:5, 4:8, 16。
- B. 神聖な命と神聖な性質は、分離することができません。神聖な性質は神聖な命の実質であり、神聖な命の内側にあります——1:1-2, 5:11-13。
- C. 神の子供たちとして、わたしたちは神・人であり、神から生まれ、神の命と性質を所有し、神の種族に属します——3:1, ヨハネ 1:12-13:
 1. わたしたちの再生の時、別の性質がわたしたちの中へと分け与えられました。これは神の性質、神聖な性質です——Ⅱペテロ 1:4。
 2. 神聖な性質は神聖な命の中にあるので、わたしたちがそれをもって再び生まれた神聖な命は、神聖な性質をその内側に持っています——ヨハネ 3:3, 5-6, 15。
 3. 神の御子の中へと信じる者はだれでも神から生まれており、神の子供となる権利を持っています。ですから、信者は、神の性質にあずかり享受する権利を持っています——1:12-13。
- D. 神聖な性質にあずかる者とは、神聖な性質を享受し、また神聖な性質に分を持つ人です——Ⅱペテロ 1:4:
 1. 神聖な性質にあずかるとは、神が何であるかを享受することです。神聖な性質にあずかる者となるとは、神の存在の豊富と要素と構成にあずかる者となることです——Ⅰペテロ 1:8。
 2. わたしたちは神聖な性質にあずかる者となろうとするなら、神聖な命によって生きる必要があります。この命の内側には、神聖な性質があります——ヨハネ 1:4, 10:10, 11:25, 6:57 後半。
- E. わたしたちは神聖な性質の豊富を、神の尊く、際立って偉大な約束を通して享受します——Ⅱコリント 12:9, マタイ 28:20 後半, エペソ 3:20。
- F. 神聖な性質にあずかる者となることには、条件があります。それは、わたしたちが情欲によるこの世の腐敗から逃れることです。わたしたちは逃れることとあずかること、あずかることと逃れることの循環の中に、生きる必要があります——Ⅱペテロ 1:4。

G. わたしたちは神を享受し、彼の存在の豊富にあずかるなら、神聖な性質で構成され、神格においてではなく命と性質において神と同じになり、わたしたちであるすべて、またわたしたちが行なうことすべてにおいて彼を表現します——Ⅱペテロ 1:3。

H. わたしたちが神聖な性質にあずかり、神であるすべてを享受するとき、神聖な性質の豊富は完全に発展します。それはⅡペテロ第1章5節から7節に記述されているとおりです。

II. 神聖な種はすでにわたしたちの中へとまかれており、わたしたちは、この神聖な種の中に含まれている、神聖な命と神聖な性質の発展を経験する必要があります。それは、わたしたちが永遠の王国へと豊かに入るためです——Ⅱペテロ 1:1, 4-11:

A. わたしたちは、すばらしい、同じ尊い信仰をすでに割り当てられました。この信仰はすべてを含む種です——1節:

1. すべての神聖な豊富はこの種の中にありますが、わたしたちは勤勉になってそれを発展させなければなりません。成長して円熟することは、わたしたちがすでに持っているものを発展させることです——1-8節, 3:18。

2. これらの美德を発展させることによって、わたしたちは命において成長し、最終的には円熟に達し、キリストに満ち、また資格づけられ装備されて、来たるべき王国で王となります——エペソ 4:13-15, コロサイ 2:19, Ⅱペテロ 1:11。

3. わたしたちは完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは信仰の種から、美德や知識という根、自制という幹、忍耐や敬虔^{ひいけん}という枝々を通して、兄弟愛や愛という花と実へと至ります——5-7節。

B. 信仰に美德を供給するとは、同じ尊い信仰を活用して、美德を発展させることです。すなわち、神聖な命の力が、活力のある行動を生み出すことです。この信仰は活用されて、神聖な命の美德が発展して次の段階に至り、円熟に達する必要があります——5節前半。

C. 美德は、神とわたしたちの主イエスに対する知識の満ちあふれる供給を必要とします。わたしたちが美德の中で発展させるべき知識は、神とわたしたちの救い主に対する知識、神のエコノミーに対する知識、信仰とは何であるかに対する知識、神聖な力、栄光、美德、性質、命に対する知識を含みます——5節後半。

D. 自制は、自己の情感と願望と習慣に対して制御や抑制を行使することです。そのような自制は、命における正常な成長のために、知識において行使される必要があります——6節前。

- E. 忍耐を行使するとは、人と環境を耐え忍ぶことです——6節中。
- F. 敬虔は、神のようである生活、神を表現する生活です——6節後。
- G. 兄弟愛(ヒラデルヒヤ)は、兄弟の愛情、すなわち、喜びと楽しみで特徴づけられる愛です。神の表現である敬虔において、この愛が供給される必要があります。それは、兄弟の関係を維持するため、この世に対するわたしたちの証しのため、実を結ぶためです——7節前半、Iペテロ2:17、3:8、ガラテヤ6:10、ヨハネ13:34-35、15:16-17。
- H. わたしたちの内側の神聖な性質の究極的な発展は、愛「アガベ(agape)」です。このギリシャ語は新約の中で神聖な愛を指すのに用いられています。神聖な愛とは、神が彼の性質において何であるかです——IIペテロ1:7後半、Iヨハネ4:8、16:
1. わたしたちの兄弟愛は、さらに発展して、さらに高貴で崇高な愛に至る必要があります——IIペテロ1:7後半。
 2. わたしたちは神聖な性質を享受するとき、割り当てられた信仰の神聖な種を発展させ、神聖で高貴な愛においてその究極的完成に至る必要があります——5-7節。
 3. わたしたちは神聖な性質に極みまであずかるとき、愛としての神で満たされ、愛の人、愛そのものとさえなります——エペソ3:19。
- I. 神聖な命の中で霊的な美徳を発展させ、こうして神聖な命の成長において前進することは、神がわたしたちを召して選んだことを、堅固なものとしめます——IIペテロ1:10。
- J. わたしたちは勤勉になって、神聖な命と神聖な性質の成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです——10-11節:
1. わたしたちが神聖な命と神聖な性質の発展において享受する満ちあふれる供給は(3-7節)、わたしたちをあふれるばかりに供給して、わたしたちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます。
 2. この供給は、わたしたちを来たるべき王国へと入らせることができ、資格づけます。それは、神の輝く栄光に至るわたしたちの卓越した美徳(力)としての、神聖な命と神聖な性質のすべての豊富によります——3節、Iペテロ5:10。
 3. 一見すると、わたしたちが永遠の王国へと入ります。実は、永遠の王国へと入ることは、わたしたちの命における成長と、わたしたちの内側にある神聖な命の発展とを通して、わたしたちに豊かに供給されることによります。